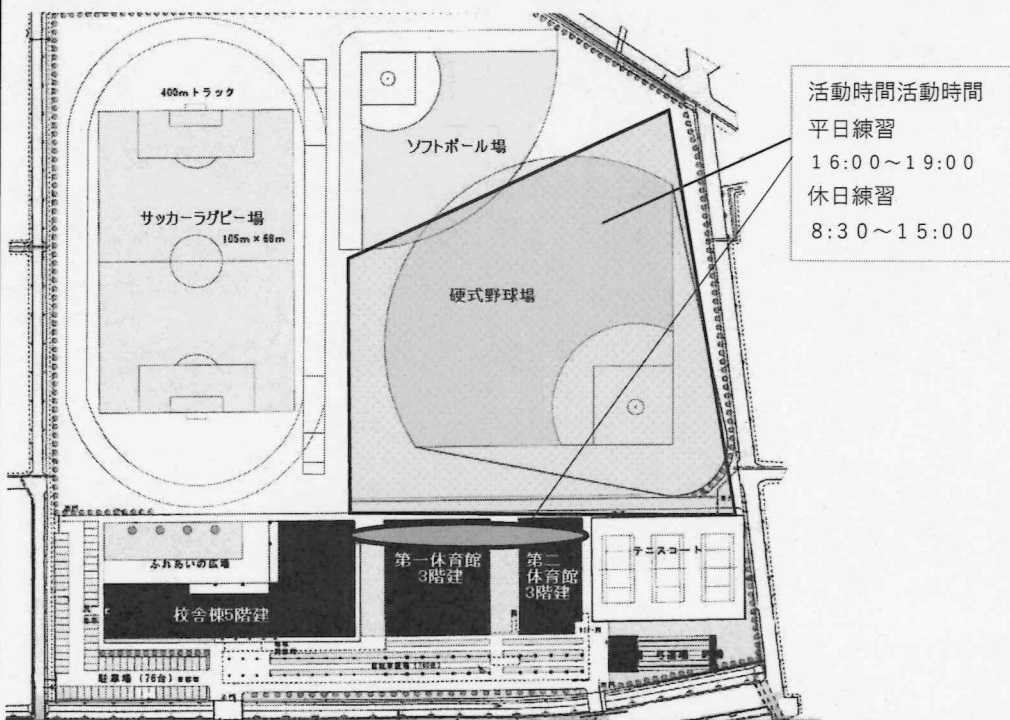
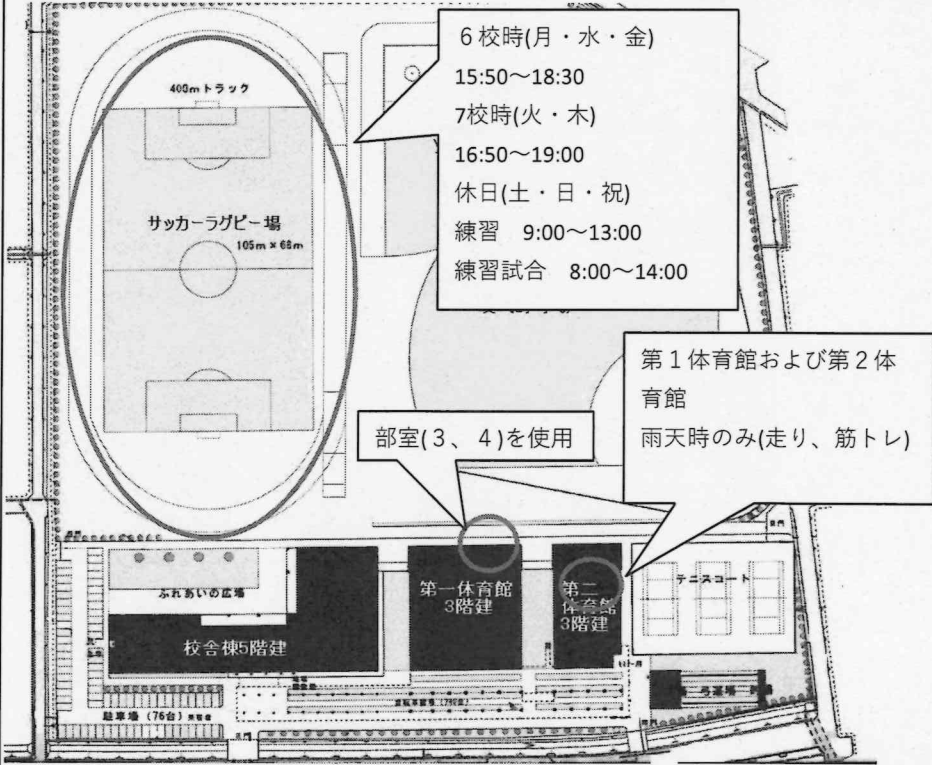
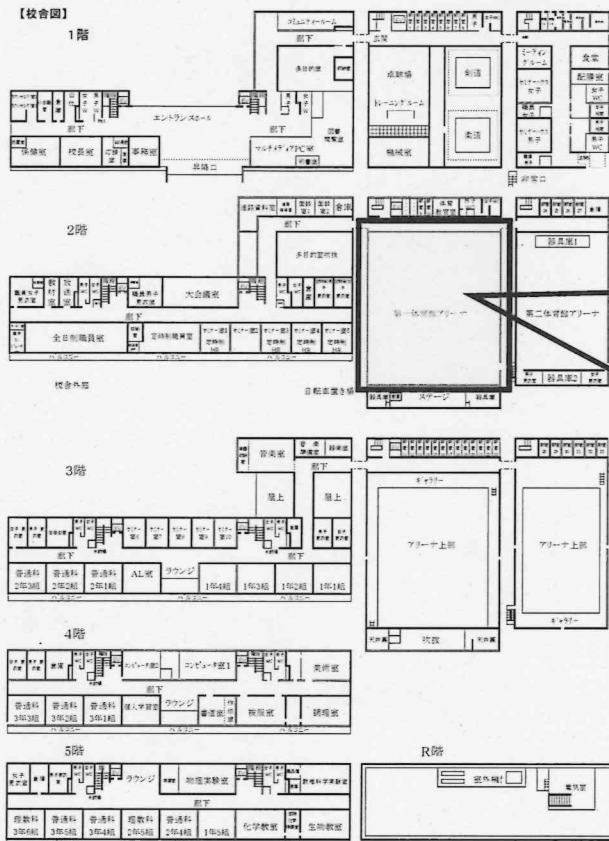


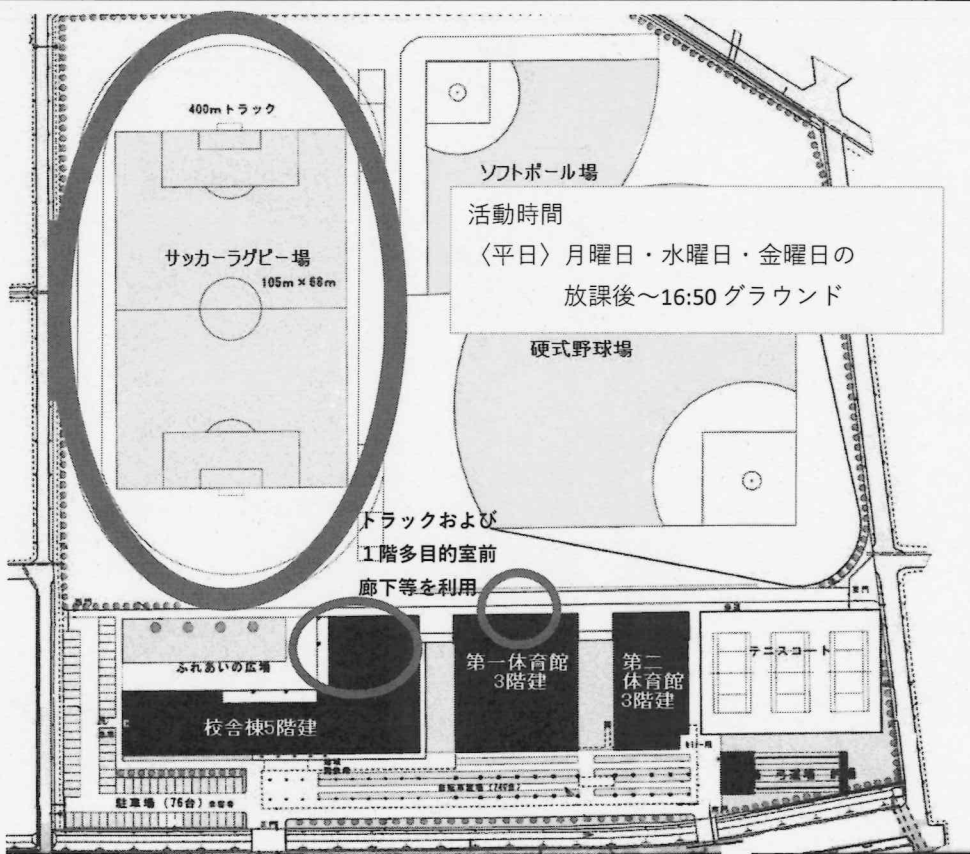
部活動名	硬式野球部
顧問・副顧問	主顧問：1名、責任教師：1名、副顧問：1名
顧問と副顧問の役割分担	基本的には主顧問が指導する。主顧問不在時には、副顧問が主顧問との連携のもと指導に当たる。 部費等の金銭面の管理と勉強面の指導は全顧問で分担して行っている。
部員数(部員名簿添付)	18名(3年男子5名・2年男子4名・1年男子7名・1年女子2名)
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室等 全てを図内に記入)	
施設・用具等の状態	・基本的な器具として使用しているゲージやネットは劣化もみられるが、野球部後援会などの協力を仰ぎ、溶接や修理を施して使用している。 ・野球場周辺のネットは油が切れて傷んでいる部分もあるが、手の届く範囲の破損はその都度野球部で直し使用している。 ・用具庫が足りないため、第2体育館の1階を用具置き場として活用している。
他の部と兼用している場所・用具	野球場西側レフト後方、第1体育館1階、ウェイト場、ウェイト器具
これまでのヒヤリハットと その再発防止策	・打撃練習の際は細心の注意をはらっているが、100キロ超のスピードボールがくるためどうしても危険はつきものである。投手が投げるときはヘッドギアは必ず付け、打者はヘルメットを被らせる。一度当たったヘルメットは耐久性劣化のため再使用は認めていない。また、左右前方に危険防止のためのネットを必ず置いている。 ・試合の時は野球場外にボールが飛ぶことがある。天蓋ネットを1m余分に垂らしてもらったため以前より出なくなりましたが、出そうな場合すぐに大きな声をかけさせている。今後、グラウンドを使用している他の部員と確認・訓練を実施する。 ・ウェイト時の危険。 → 危険防止のため必ず靴を履き、2人組で行わせている。 ・熱中症への注意を生徒に呼びかけると共に、こまめな水分補給や早めの休憩を多く設けるなどの対策を行っている。
校外での活動の際の移動方法	学校バス使用(運転手:主顧問、副顧問)、公共交通機関、保護者送迎
日常使用する校外施設(図等添付)	特になし
部内の安全に係わる確認事項	・ウェイトは必ず2人組、運動靴を着用させる。 ・打撃練習の際は、ヘッドギア、ヘルメット着用を厳守させる。 ・ネットの設置は複数の目で安全確認をする。 ・ネット補修係の常設化。 ・女子マネージャーが帰るときは複数で帰宅させる。 ・危険への瞬時の声かけを習慣付ける。 ・ボールを投げるときは帽子着用。ユニフォーム着用厳守。

部活動名	サッカー部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：2名
顧問と副顧問の役割分担	基本的には顧問が指導にあたる。顧問不在時には副顧問と連携しながら指導する。
部員数(部員名簿添付)	21名(3年6名・2年4名・1年11名)
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室等 全てを図内に記入)	
施設・用具等の状態	ピッチの状況：芝ははげてしまいでこぼが多い。芝生と土の境目の部分は段差ができており足をとられやすい。強い風が吹いている時に、前が見えなくなるほどの砂埃が立つ。この環境下で活動をしていれば怪我を招く可能性も高い。 サッカーゴール(大)：強風で倒れないよう、ポストを杭で止めている。 サッカーゴール(小)：計4つ。アルミ製の2つを使用、鉄製の2つは破損があり使用しない。 そのほか、ボール等の用具は適宜必要に応じて買い換えながら使用する。
他の部と兼用している場所・用具	サッカー場(陸上部)、第一体育館および第二体育館(雨天時)
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	→ 練習後の土部分のグラウンド整備をしっかりと行い練習している。しかし芝生と土の境目の部分の段差など日常的なグラウンド整備だけでは解決できない問題が多い。根本的な解決策が必要である。今後の整備の方法については事務室と相談・検討していく。 ・小さいサッカーゴールが強風で倒れた。 → サンドウエイトを購入・設置して練習をしている。ゴールを使用しない練習を行う時もある。 ・シュート練習などでトラックを走る陸上部にボールが当たった。 → メニューを調整しながら練習を行っている。シュート練習時にはボール拾いを配置、声を掛け合うなどの対策を行っている。 サッカー場の周りのネット：ボールがネットを越すことがある。 → 大きな声で注意を呼びかけるなどの対策をとる。
校外での活動の際の移動方法	保護者送迎、公共交通機関、自転車、借り上げバス、学校自動車
日常使用する校外施設(図等添付)	特になし
部内の安全に係わる確認事項	・体調が優れない場合はどんなに細かいことでもすぐに顧問へ報告する。 ・スパイクやソックスなど用具をきちんと着用する。 ・暑い時期は冷たいスポーツ飲料を持参する。テントを設置し日陰を作る。給水・休憩をこまめにする。 ・周囲の部活動の様子を確認しながら取り組む。 ・緊急時にはできるだけたくさんの先生に声をかける。

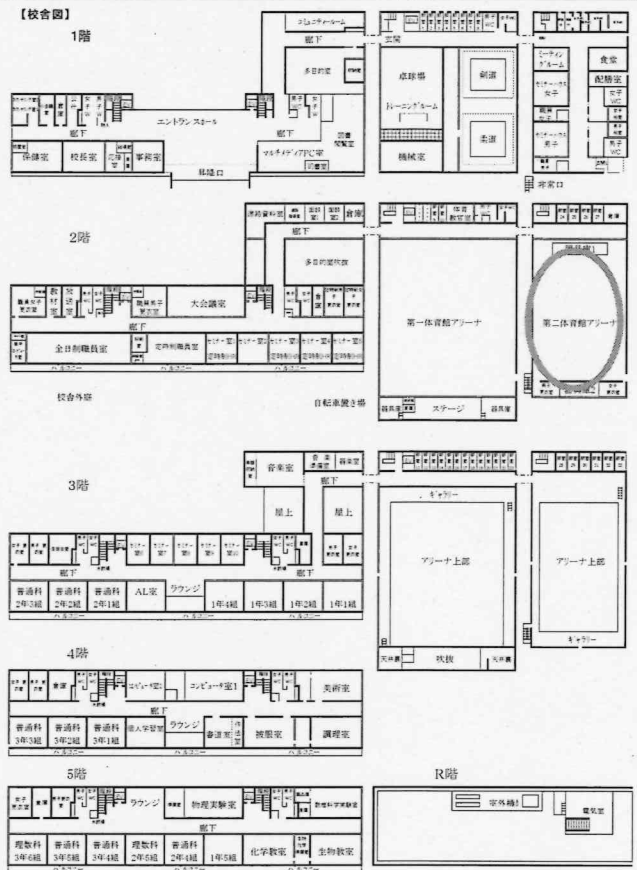
令和7年度 部活動安全管理体制

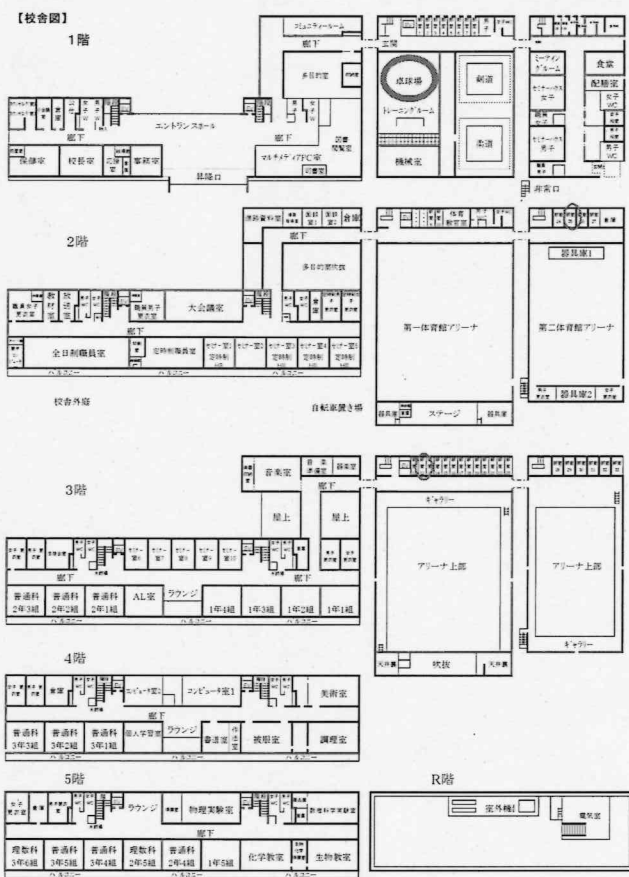
部活動名	男子バスケットボール部
顧問・副顧問名	顧問：1名 副顧問：2名
顧問と副顧問の役割分担	顧問：練習指導、練習試合・大会引率 副顧問：顧問が対応できないときに顧問の代わりに指導
部員数(部員名簿添付)	16名
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室等 全てを図内に記入)	 【活動活動時間】 ・平日 6校時(月・金) 15:50～18:30 7校時(火・木) 16:50～18:30 ・休日(土・日・祝) <練習>8:00～11:00 <練習試合> (午前)9:00-13:00 (午後)13:00-17:00
施設・用具等の状態	・令和4年度まで続いた雨漏りにより、床板が劣化して表面が粗くなり、危険だが、テープを貼ることでとりあえず対応している。雨漏り自体は令和4年度夏の工事によりしなくなった。 ・点灯している照明の数が少ない。
他の部と兼用している場所・用具	第1・2体育館フロア、大型扇風機、器具庫(女子バスケットボール部、バドミントン部、女子バレーボール部)
これまでのヒヤリハットと その再発防止策	・床が滑りやすく、全力でドリブルシュートに行くと、停止できず壁にぶつかったり、踏ん張りがきかず、スリッパして転んだりする。モップがけをしたたり、応急処置的に滑り止め剤を塗ったりして、十分に注意して活動する。 ・他部活と同時に活動中は、体育館中央に緑色の網を引き、ボールが行き来しないようにしている。しかし、隅の隙間から行き来してしまうことがある。パネルを立てて隙間を塞いだり、大きな声を出してお互いに知らせたりする。 ・練習や試合中に、選手同士がぶつかって怪我をしたことがある。対人練習を行うときは、緊張感を持ち集中するように指導する。また試合中も常に周りを見て冷静にプレーできる力を身につけさせる。
校外での活動の際の移動方法	保護者送迎、公共交通機関、自転車(近隣)
日常使用する校外施設(図等添付)	特になし
部内の安全に係わる確認事項	ウォーミングアップをしっかりと行い、けが予防に努める。 対人練習を行うときは、集中し、緊張感を持ってプレーする。

部活動名	女子バスケットボール部
顧問・副顧問名	顧問：1名 副顧問：2名
顧問と副顧問の役割分担	顧問が全面的に指導している。 副顧問は大会引率時に指導。
部員数(部員名簿添付)	11名
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室等 全てを図内に記入)	 活動時間 平日：16時～18時30分 休日：9時～12時00分
施設・用具等の状態	雨漏りの影響でフロアが反り返っている。→ガムテープにて応急的に補強。 雨漏りによるフロアの腐食、ワックス剥げあり。
他の部と兼用している場所・用具	第1体育館・器具庫を男子バスケ部、男女バドミントン部、女子バレー部と兼用している。
これまでのヒヤリハットと その再発防止策	体育館は滑りやすいので濡れ雑巾を踏んでコートに入る等の対応をしている。緑色の網、ついたてを用意してボールの侵入、侵入を防いでいる。侵入出が発覚したら即座に大声で声をかけ、ボールの処理を行う。夏場は熱中症の危険性があるので、水分補給、休憩を多くとっている。
校外での活動の際の移動方法	公共交通機関、保護者送迎、自転車
日常使用する校外施設（図等添付）	
部内の安全に係わる確認事項	体調管理を行う。体調不良を感じたらすぐに申し出る。ボールの管理をしっかり行い、床に転がっていることのないようにしている。

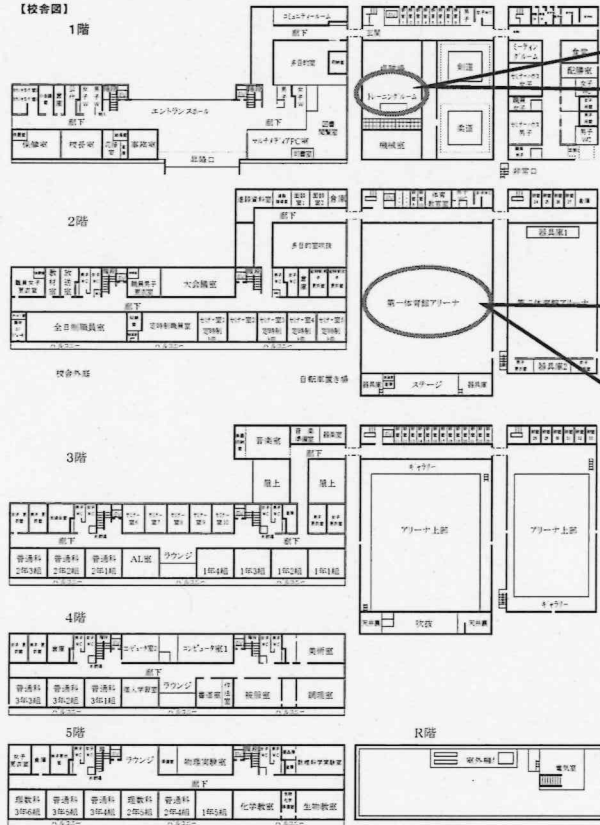
部活動名	陸上競技部（中長距離ブロック）
顧問・副顧問名	主顧問：1名、副顧問：2名
顧問と副顧問の役割分担	主顧問が中心となって指導する。主顧問不在時には、副顧問が主顧問との連携のもと、指導に当たる。
部員数(部員名簿添付)	3名（1年男子3名）
活動場所および活動時間 （トレーニング・部室等 全てを図内に記入）	 400mトラック ソフトボール場 活動時間 〈平日〉月曜日・水曜日・金曜日の 放課後～16:50グラウンド 硬式野球場 トラックおよび 1階多目的室前 廊下等を利用 ふれあいの広場 校舎棟5階建 第一体育館 3階建 第二体育館 3階建 テニスコート 駐車場（76台）
施設・用具等の状態	・ハードル→安全確認済み
他の部と兼用している場所・用具	場所：トラック 用具：とくになし
これまでのヒヤリハットと その再発防止策	特になし
校外での活動の際の移動方法	公共交通機関、保護者送迎、自転車
日常使用する校外施設（図等添付）	なし
部内の安全に係わる確認事項	・「報告・連絡・相談」の徹底。 ・体調管理（食事・給水・睡眠等）に関する指導 ・緊急事態発生時の指導（AEDの使用方法、熱中症を発症した際の対処方法 等） ・雷発生時には、練習を中断して直ちに建物内に避難。 ・熱中症（脱水等）予防として、水分・塩分飴等を準備し、特に夏季及び高温が予想される場合は練習内容を変更する。

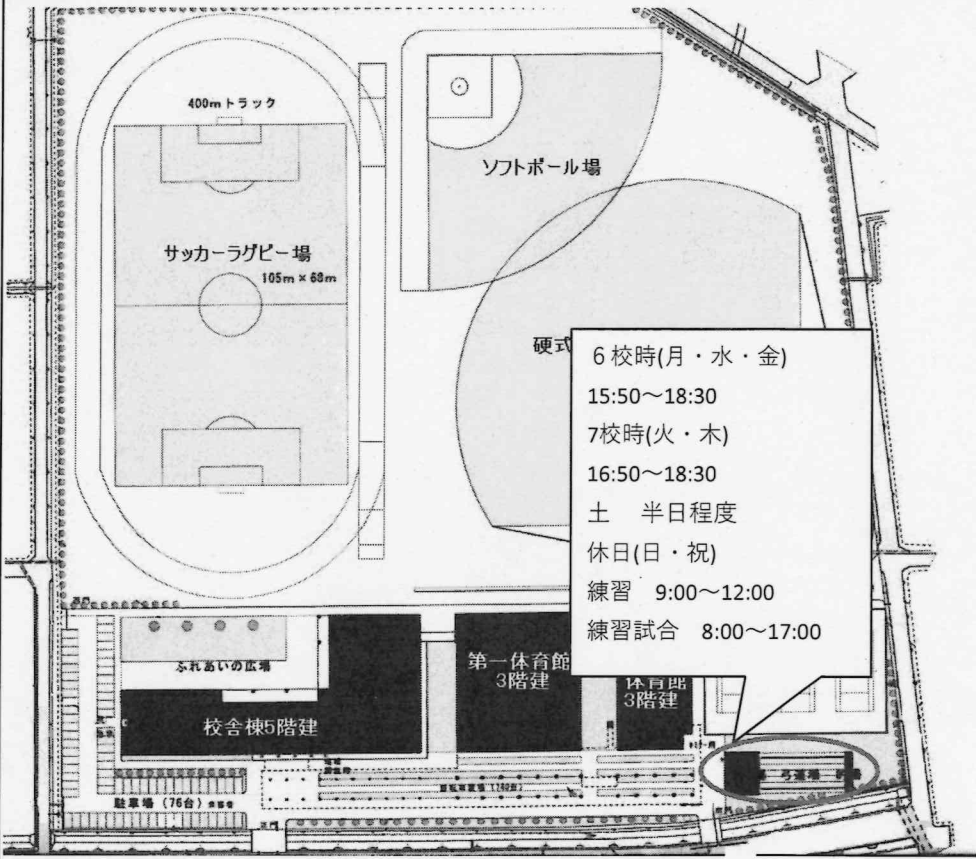
部活動名	陸上競技部（短距離フィールドブロック）
顧問・副顧問名	主顧問：1名 副顧問：2名
顧問と副顧問の役割分担	主顧問が中心となって指導する。主顧問不在時には、副顧問が主顧問との連携のもと、指導に当たる。
部員数(部員名簿添付)	4名（1年男子3名、1年女子1名）
活動場所および活動時間 （トレーニング・部室等 全てを図内に記入）	
施設・用具等の状態	○ハードル、走高跳用マット・バー・支柱、走幅跳用具、スターティングブロック、ピストル、メディシンボール、ラダー →安全確認済 ○トラック →練習後に毎回整備、安全確認済
他の部と兼用している場所・用具	場所：トラック 用具：特になし
これまでのヒヤリハットと その再発防止策	特になし
校外での活動の際の移動方法	公共交通機関、保護者送迎、自転車
日常使用する校外施設（図等添付）	なし
部内の安全に係わる確認事項	・「報告・連絡・相談」の徹底。 ・体調管理（食事・給水・睡眠等）に関する指導 ・緊急事態発生時の指導（AEDの使用法、熱中症を発症した際の対処法 等） ・雷発生時には、練習を中断して直ちに建物内に避難。 ・熱中症（脱水等）予防として、水分・塩分飴等を準備し、特に夏季及び高温が予想される場合は練習内容を変更する。 ・そのほか、顧問及び教職員の指示に従って行動する。

部活動名	女子バレーボール部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：2名
顧問と副顧問の役割分担	部活動の開始から終了、ミーティング等すべての活動を顧問が行い、顧問が出張等不在のときのみ副顧問が担当する。
部員数(部員名簿添付)	3年1名、2年3名、1年2名
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室等 全てを図内に記入)	・活動日程・時間 平日→毎週火曜(16:45~18:00) 木曜(16:45~18:00) 金曜(16:00~18:30) 休日→練習または練習試合 土曜・日曜(09:00~12:00) ・活動場所 →第二体育館 
施設・用具等の状態	・第一体育館、第二体育館の床が滑りやすい。→モップがけをていねいに行うなどの対策をしながら練習をしているが、事務に要望を出している。
他の部と兼用している場所・用具	・第二体育館は、女子バレーが使用しない場合に限り、女子バスケ部、バドミントン部、テニス部(雨天時のみ)兼用
これまでのヒヤリハットと その再発防止策	特になし
校外での活動の際の移動方法	保護者送迎
日常使用する校外施設(図等添付)	なし
部内の安全に係わる確認事項	・校舎の外周を走る際には、必ず顧問に声をかけ、1人では絶対に走らない。 (最低でも2人で走る) ・けが等をした際には、体育教官室、職員室に必ず行き、顧問の指示を受けて、体育科の先生、その他の先生を呼びに行く。必ず1人は傷病者の側を離れない。 ・夏場は熱中症対策として水分補給をこまめにとることを心掛け、冬場は怪我等防止のため身体を十分に暖めてからボールを使った練習をする。

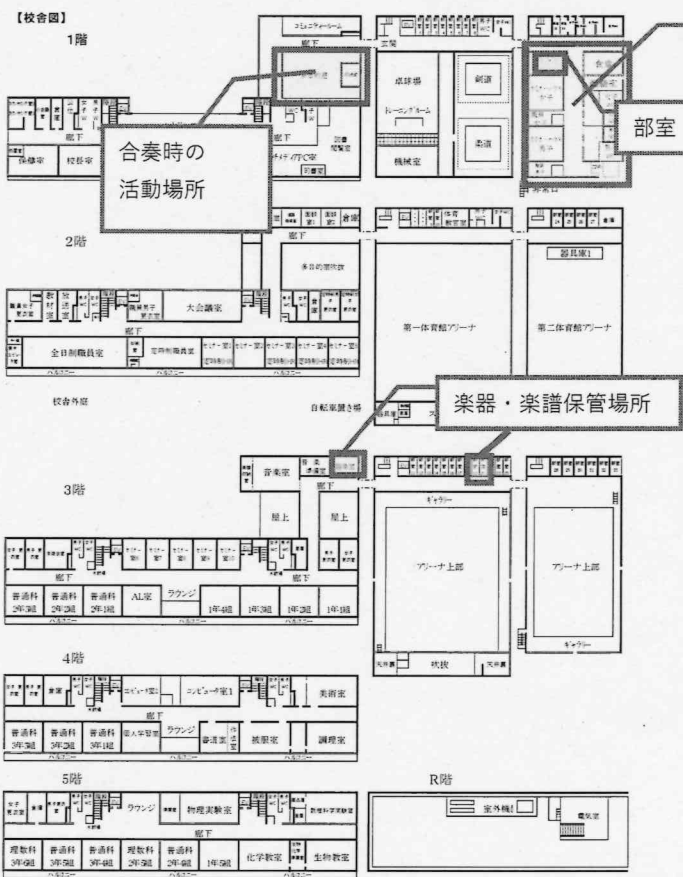
部活動名	卓球部
顧問・副顧問名	顧問: 1 名 、 副顧問: 2 名
顧問と副顧問の役割分担	顧問が指導を行っている。
部員数(部員名簿添付)	10 名 男子 3 年 1 名・2 年 2 名・1 年 5 名 女子 1 年 2 名
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室等 全てを図内に記入)	 活動時間 平日 6 限 15:50～18:30 7 限 16:50～18:30 休日 9:00～12:30 午後練習: 13:00～16:30 *練習試合、大会がある場合は、別日程となる。
施設・用具等の状態	基本的には、状態が悪いものはない。
他の部と兼用している場所・用具	特になし
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	本校ではないが、卓球台を上げるときに、うまく支えられずに、卓球台が倒れてきて怪我をするケースがあるので、卓球台の上げ下げを行うときは、慎重に複数で行う。
校外での活動の際の移動方法	保護者送迎
日常使用する校外施設 (図等添付)	なし
部内の安全に係わる確認事項	・体調管理(栄養・睡眠・給水)を徹底する。 ・常に卓球場の整理整頓を行い、安全に活動が出来るようにする。 ・大きく動くには、けっして広い練習場ではないので、隣り合う台は気をつけて練習をするようにしている。

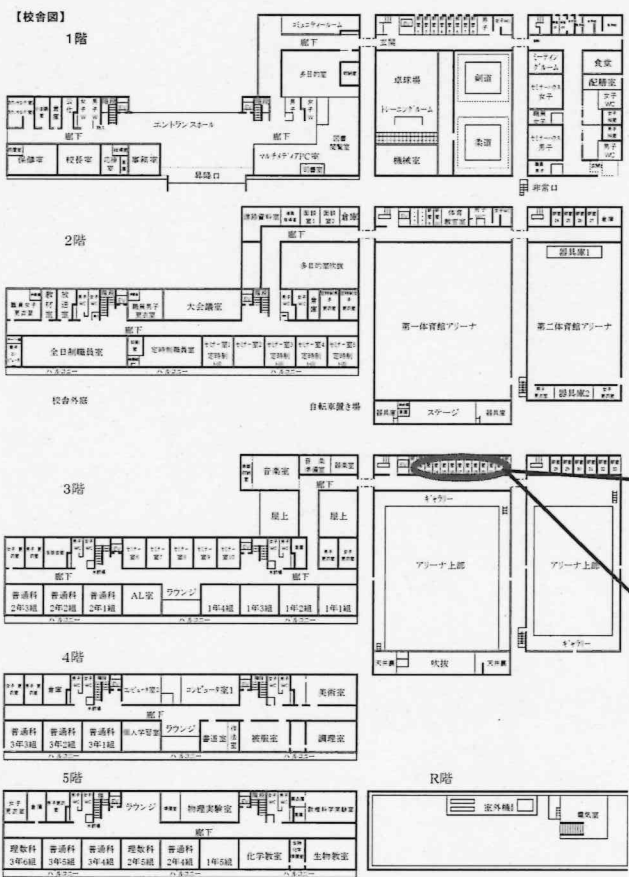
令和7年度 部活動安全管理体制

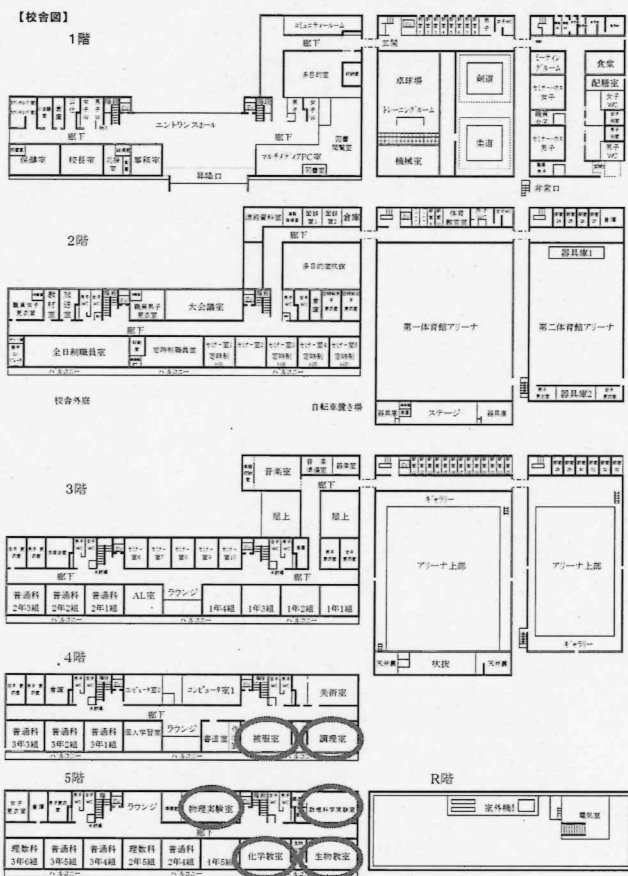
部活動名	バドミントン部
顧問・副顧問	顧問：2名 副顧問：3名
顧問と副顧問の役割分担	通常は顧問2名が指導するが、顧問不在時は副顧問が指導にあたる。対外試合は男女が別会場になるために、3名の顧問で引率する。
部員数(部員名簿添付)	35名(男子16名・女子19名)
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室等 全てを図内に記入)	 活動時間 火・・・午後5時～5時半 土・・・午前10時～11時 男子のみ 活動時間 月水金 ・・・午後4時～6時半 火 ・・・午後5時～6時半 土日休日 午前 9時～12時 午後13時～16時 *原則 日曜休み (練習試合・大会等がある場合はその限りではない)
施設・用具等の状態	ネット・シャトル・ラケットは、良好な状態である。ネットに一部破損(穴あき)があるが、通常の使用に支障はない。ポールに一部不具合がある。3面使用の際には問題ないが、6面使用の際には注意が必要である。
他の部と兼用している場所・用具	なし
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	・スマッシュのシャトルが目に入る・・・避ける動作の徹底・ポジショニングの指導・必要に応じてゴーグル使用 ・ダブルスでの選手同士の接触・・・声かけの徹底・ポジショニングの指導 ・足首のねんざ・・・準備運動の徹底・フットワークの強化 ・ネットのひもが切れて止め金具とポールの隙間に指を挟まれそうになった・・・ひもの状態の把握 ・ネットを緩める際に、ポールと止め金具の隙間に指をはさまれそうになった・・・ねじの固いポールはできるだけ使用しないようにし、外す際は、慎重に行う
校外での活動の際の移動方法	公共交通機関、保護者送迎
日常使用する校外施設(図等添付)	なし
部内の安全に係わる確認事項	・準備運動の徹底 ・用具の使用方法和注意事項の確認 ・休憩時間の確保 ・部員間のコミュニケーションの確保 ・ルールの理解とポジショニングの確認

部活動名	弓道部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：2名
顧問と副顧問の役割分担	顧問が不在の時には、副顧問が顧問と連携をとって指導を行う。
部員数(部員名簿添付)	29名 3年8名・2年13名・1年8名
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室等 全てを図内に記入)	
施設・用具等の状態	看的場が夜暗中に人がいるのかわからない。 → ライトを付けるように依頼し、その方向で動いている。現在は、遠くからでも人影は見える状態なのでしっかり確認することを徹底し、看的場に近似的は外して使用していない。
他の部と兼用している場所・用具	なし
これまでのヒヤリハットと その再発防止策	射場で引いている生徒がいるのに、指示を待たずに1年生が矢取りに入ってしまった。 防止策：矢取りに入るときは、必ず射場の声（全員の声）を聞いてから、2回拍手して入る。 この取り決めの徹底と、矢取りの入り口に確認手順の表示を大きく掲示した。
校外での活動の際の移動方法	公共交通機関、保護者送迎
日常使用する校外施設（図等添付）	なし
部内の安全に係わる確認事項	顧問の指示に従って行動する。報告・連絡・相談をする。 矢取りの際には赤旗を出し、射場の声（一回目は一人、2回目は全員）によって看的場から矢取りの生徒を安土内に入らせる。入るときも拍手を2回して「はいります」の声で入れる。矢取りをしているときは射場にいる生徒は構えさせない。矢は必ず矢先をもたせる。道具の点検（カケ・矢）は月に1回行う。救急箱の用意。袴で走らない。看的場に近似的は使用しない。

令和7年度 部活動安全管理体制

部活動名	吹奏楽部
顧問・副顧問名	顧問：1名 副顧問：4名
顧問と副顧問の役割分担	基本的に顧問と部員のやりとりに基づいて活動（両副顧問とも他の部活動の顧問を務めているため）。必要に応じて顧問が協力を仰ぐ形
部員数(部員名簿添付)	30名
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室等 全てを図内に記入)	 主となる活動場所 部室 合奏時の活動場所 楽器・楽譜保管場所 活動時間 月火金 16:00～18:30 水木 17:00～18:30 土日 8:30～12:00 or 13:00～16:30
施設・用具等の状態	○故障・破損している楽器は、昨年度半分程廃棄、古いティンパニ・シロフォンの廃棄検討 ○エアコン故障のため、熱中症の心配あり
他の部と兼用している場所・用具	多目的室、第2体育館1F合宿所全般
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	3F部室の楽器を置く棚が倒れてこないか心配になるときがあった。 → 転倒防止器具を取り付けた。
校外での活動の際の移動方法	保護者送迎、貸し切りバス（予算があれば）、(大型楽器運搬用として)業者のトラック
日常使用する校外施設（図等添付）	特になし
部内の安全に係わる確認事項	○施錠確認は幹部(部長、副部長、指揮者×2、会計の計5名)を中心に必ず複数名で実施する ○大型楽器運搬の際には周囲と自身の安全に細心の注意を払う ○手に負えないことは自分たちだけで無理をせずすぐに職員(顧問または副顧問等)に相談する ○顧問の不在日は予定表にも載せ、追加があればすぐに伝達する。 当日の動きについても幹部とできるだけ具体的に確認する。

部活動名	軽音楽部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：2名
顧問と副顧問の役割分担	顧問が指導できない場合に、副顧問が指導にあたる
部員数(部員名簿添付)	37名(男子13名・女子24名)
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室等 全てを図内に記入)	 活動場所は、体育館3F 部室13、14(荷物 置き場)、15、16、 19、20、を使用。 活動時間は 平日4時～6時半、 土日9時～4時 (ライブなどのイベン ト前は多少時間が前 後)
施設・用具等の状態	楽器(ドラムセット、キーボード、各個人でギター、ベース) 音響機器(スピーカー、アンプ、エフェクター、マイク)
他の部と兼用している場所・用具	なし
これまでのヒヤリハットと その再発防止策	特になし
校外での活動の際の移動方法	保護者送迎、自転車、公共交通機関
日常使用する校外施設(図等添付)	なし
部内の安全に係わる確認事項	①カギを鍵穴にさしたまま部室を使用する(カギの紛失防止、生徒指導上の配慮) ②電気機器の扱い、漏電、感電に注意する ③重い機器で指や手を怪我しないよう注意する ④夏の熱中症防止(換気を充分に行い、休憩、水分の補給に留意する)

部活動名	F.C.Lab
顧問・副顧問名	顧問：1名 副顧問：5名
顧問と副顧問の役割分担	顧問と、副顧問が指導、サポートを行う。
部員数(部員名簿添付)	3年生37名・2年生40名(理数科全員)、3年2名 1年2名
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室等 全てを図内に記入)	 【活動時間】 不定期 月・水・金 15:30～18:30 火・木 16:30～18:30 土・日 大会、イベントなど
施設・用具等の状態	物理室・化学室・生物室・数理科学室・各種実験器具 家庭科 被服室・調理室
他の部と兼用している場所・用具	なし
これまでのヒヤリハットと その再発防止策	特になし
校外での活動の際の移動方法	学校自動車使用(運転手 顧問/副顧問)、公共交通機関、保護者送迎
日常使用する校外施設(図等添付)	なし
部内の安全に係わる確認事項	・実験器具や調理器具を使用する場合には顧問に確認する。 ・危険を伴う作業(薬品の調製やドリルやのこぎり等の工具を用いた加工、火気を用いる調理など)は顧問同伴で行う。